



スマイル 天神

天神小学校
学校だよりNo.9
令和元年6月7日
発行者 蒲川法子



思いやりのある子・進んで学ぶ子
明るくたくましい子

道徳授業公開 ～いのちを大切に 思いやりのある子に～

5日(水)に全学年一斉道徳授業公開を行いました。年間指導計画に従って、道徳の教科書をもとにいのちの大切さや相手を思いやる気持ちの大切さに気づかせる授業が展開されました。

1年生は「おたんじょうびれっしゃ」の話を読んで大切ないのちについて考えました。それぞれが多くの人に支えられて生きていること、自分の持っている生きる力によってこれまで成長してきたことを感じこれから自分ががんばっていくことについて考えました。

2年1組は「モムンとヘーテ」の題材で、仲良しの友達とはどんな人たちだと思うか考え、意見や考えの食い違いや感情のすれ違いがあっても互いに支え合うことが大切なことを学びました。けんかをしてもしも仲良くしたいという気持ちを持てるようになると素敵だと思います。

2年2組は「おとうとのたんじょう」という題材で、弟が誕生した家族の気持ちを考えることで、自分の命は家族の願いを受けて生まれてきたことや、自分には生きる力があることが分かり、自分の命を大切にしようと考えを深めることができました。

3年生は「いのちのまつり」の題材で命のつながりについて考えました。多くのご先祖様が一生懸命生きてつないでくれた命、未来へとつないでいかなくはなりません。自分以外の命も同じように命のバトンを受け継いでいるのだから大切にしないといけないと考えることができました。

4年生は「ぼくの生まれた日ードラえもんー」を題材に、それぞれが生まれたときの周囲の喜び、期待を知ることで家族のよさについて考え、自分のいのちを輝かせるためにこれからどのように生活していくか考えました。

5年生は、「短所も長所」という題材で学習しました。自分が短所だと思っていたことが、友達の間から見ると長所になっていることがあるという内容で、自分自身について考えることができました。授業の中で、友達やおうちの方からそれぞれのよさを書いたカードをもらってとてもうれしそうでした。自分らしさを発揮してほしいものです。

6年生は「生命のメッセージ」の資料を使って事故や犯罪で突然、家族の命を奪われた方の取組について知り、命の重さ、命を輝かせて生きることとはどんなことか考えました。また、授業の最後に家族から子どもたちへの手紙があり、教室は感動した子どもたちの笑顔や涙の表情であふれました。

たくさんの皆様にご参観いただきありがとうございました。今後も道徳の授業を大切に子どもたちの心を育てていきたいと思ひます。

学校支援会議開催

5日(水)に学校支援会議を開催いたしました。参加して下さったのは、学校評議員、民生児童委員、主任児童委員、公民館長、町内会長、老人会長育友会役員、学校職員等24名。学校の教育目標や計画、児童の様子、放課後子ども教室等について説明した後、情報交換等を行いました。情報交換の中で子どもたちの登下校や教室での様子について話がありました。元気なあいさつができるようになってきたこと、集団で登校すれば子ども同士のつながりが強くなり、安全な登校に役立つこと、子どもたちの挨拶の声も日によって異なるので、その理由について観察が必要なこと等、とても参考になるお話をうかがうことができました。

地域の子育て目標である「きもちのよいあいさつ」ができるよう、大人がまず率先して子どもに手本を示したいものです。